



第75回 ふれ愛シネサロン
人権週間(12月4日～10日)記念事業

破



島崎藤村、不朽の名作「破戒」を60年ぶりに映画化。
なぜ自分の故郷を語れない。
この戒めを破り 明日を生きる——

戒

原作：島崎藤村『破戒』
監督：前田和男
脚本：加藤正人／木田紀生
出演：間宮祥太郎／石井杏奈／矢本悠馬 ほか

©全国水平社創立100周年記念映画製作委員会

令和5年 **12月9日(土)**

〈2回上映・30分前開場〉日本語字幕あり
①10:00～12:05 ②13:30～15:35

会場 上宮川文化センター

3階ホール 芦屋市上宮川町10番5号
[駐車場はありません]

定員 各回150人 [先着] **入場無料**

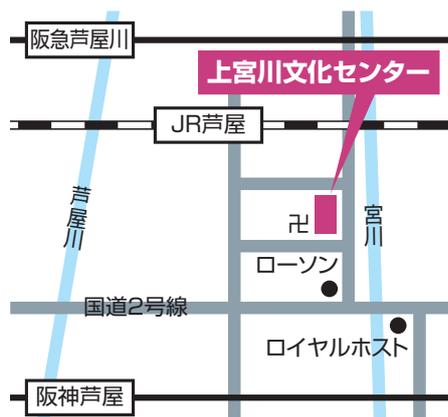
申込方法 11月1日(水)午前9時より受付開始

専用の「申込フォーム」よりお申し込みください。
託児無料 託児申込み：定員各回3人(6か月～未就学児)
※電話でのお申し込みは、人権・男女共生課まで

問合せ 人権・男女共生課 TEL.0797-38-2055

主催 芦屋市／芦屋市教育委員会／西宮・芦屋人権啓発活動地域ネットワーク協議会

●手指消毒・マスクの着用にご協力をお願いします。



要申込

申込フォーム



申込締切
11月30日(木)まで



なぜ自分の故郷を語れない。 なぜ好きな人に気持ち伝えることができない。

《物語》

瀬川丑松（間宮祥太朗）は、自分が被差別部落出身ということ隠して、地元を離れ、小学校の教員として奉職する。彼はその出自を隠し通すよう、父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師であったが、出自を隠していることに悩み、差別の現状を目の当たりにして心を乱しつつも下宿先の士族出身の女性・志保（石井杏奈）との恋に心を焦がしていた。同僚教師・銀之助（矢本悠馬）の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始める。苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎（眞島秀和）に傾倒していく。丑松は「人間はみな等しく尊厳をもつものだ」という猪子の言葉に強い感動を感じるが、猪子は政敵の放った暴漢に襲われる。この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に教え子たちが待つ最後の教壇へ立とうとする。

島崎藤村・不朽の名作「破戒」を2022年、旬なキャストで映画化。主演・丑松を務めるのは、近年、映画やドラマで多彩な活躍が目覚ましい間宮祥太朗。自らの出自に悩み続け、最後に、ある告白をする難役を気迫のこもった芝居で表現。

出演／間宮祥太朗 石井杏奈 矢本悠馬 高橋和也 小林綾子

七瀬公 ウーイエイよしたか（スマイル） 大東駿介

竹中直人 本田博太郎 田中要次 石橋蓮司 眞島秀和

